



地域交流行事

フェローホームズ

秋まつり

去る十一月一日(土)、『第九回
秋まつり』を開催しました。

コロナ禍で一時中断していた
ことから、『地域とのつながり、
かかわりの再構築』をテーマに、
各部所から選出された代表者に
よる実行委員会を七月から組織
し、実行委員会にて内容を検討
しつつ準備を進めました。

今回は、模擬店・縁日・アト
ラクシヨンの三本立てで構成。
模擬店では、恵比寿会の厨房自



題字／相庭 鳩 枝様
羽衣デイ

2025年(令和7年) 11月10日発行

発行 社会福祉法人 恵比寿会
フェローホームズ



仲間の家・森の家・高松の家
フェローホームズデイサービスセンター
フェローホームズヘルプサービス
グループホーム・ヴィラ・フェローホームズ
フェローホームズアフタースクール
森の子ナースリー(企業主導型保育園)
042-523-7601

フェローホームズ富士見相談センター
042-526-1353

羽衣地域福祉サービスセンター
フェローホームズ羽衣相談センター
立川市南部東はごろも地域包括支援センター
042-523-5612

森の子こども園 042-538-0729
しばさきのいえ子育てひろば 042-512-7704
立川市柏第四学童保育所 042-537-8555
立川市高松第三学童保育所 042-512-9703
立川市砂川七番学童保育所 042-537-7550
立川市柴崎第二学童保育所 042-512-8202

慢の屋台メニューはもとより、
ご近所のファミリーマートから
ファミチキ、ピザハットからピ
ザBOX、入船茶屋から助六寿
司、ダダッコからカレーとタコ
ライス、奈美喜庵から玉子丼、
グランデュオの移動販売車・て
みやげマルシェ等、地域の美味
しいものをご提供いただきました。
縁日では、輪投げ、ヨー
ヨー釣り、おもちゃすくいをご
用意し、たくさんの子どもたち
で賑わいました。アトラクシヨ
ンでは、国立音大卒の宇野さん
と塙さんによる歌と演奏、日野
太鼓のろし会による和太鼓演奏、

ソプラノ歌手・千葉章代さんに
よる歌と紙芝居、ゆいまーるに
よるエイサー踊り等、華を添え
ていただきました。近隣自治会
の方々には、チラシ配布やポス
ター掲示にご協力いただきました。
また、会場設営や縁日の運
営、カメラマン等、多くのボラ
ンティアの皆さまや後援会の皆
さまにご尽力いただきました。
準備から片付けまで、たくさん
の皆さまのお力添えにより盛り
立てていただき、笑顔溢れる一
日になりましたことに心より感
謝申し上げます。ありがとうございました。
(実行委員会)



FELLOW_HOMES

☆恵比寿会
高齢部門の
Instagramを
開設しました。

敬老会を 開催しました！

羽衣地域福祉サービスセンター デイサービス

今年も無事に敬老会を開催することが出来ました。今年は24名のお祝い年を迎える方がいらつしやり、毎年職員が心を込めてお祝い年の方や高齢の方のお名前を書いてご紹介させていただいています。センター最高齢の方は103歳！「素晴らしいね！私も頑張って100歳迎えたいわ！」と、敬老会を機に新たに目標を立てて下る方もいらつしやいました。その目標が元気に達成できるよう、デイサービス職員一同心を込めてお手伝いさせていただきます。



元気の秘訣は何ですか？

フェローホームズ

デイサービスセンター

フェローホームズデイサービスセンターは今年も敬老会を実施しました。ただ実施するだけでは、皆さんに特別な思いや日頃からの感謝を伝えきれないと思い、今年もより頑張った方々には表彰状の他に記念の盾を送りました。

今年の最高齢は女性で98歳。男性は100歳を迎えられた方がおります。それぞれに元気の秘訣を伺うと、「よく食べる事」「皆さんとたくさん笑う事」「デイサービスにしっかり来る事」とそれぞれの秘訣を教えて下さりました。あまりの感動で涙を流す方も



おり、その姿をみると職員も思わず感無量になってしまいます。また、今年100歳を迎えられたご利用者は国や東京都から立派な表彰状や記念品を授与されており、とても嬉しかったと職員に話されました。

式典の最後に、普段車いすでの移動を希望されることの多いご利用者が元気の秘訣を伺った際に、「歩く事！」と声高らかに宣言されました。その秘訣をしっかりと叶えていかないといけないと、職員一同決意を固めた次第です。その方は今でも車いすでの移動を希望されますが、歩行練習にも頑張っておられます。

元気の秘訣を伺いながら、一人一人の新たな一面を垣間見ることが出来た今年度の敬老会。皆さんが思っている元気の秘訣を参考にしながら、職員一同今日も元気で皆さんと携わっています。

「お詫び」
前号(夏号)の題字をご記載いただいた「木下ちづ子」様ですが、氏名を「木下ちづ子」と掲載しておりました。心よりお詫び申し上げます。訂正させていただきます。

秋はイベントが 盛り沢山！

グループホーム・ヴィラ・ フェローホームズ

9月15日敬老の日に、グループホームでは、敬老会を実施いたしました。

今年度は、ご家族もお招きして、沢山のご家族が参加していただきました。

今回のグループホームの敬老会はご入居者古川様とご一緒に司会進行をさせていただきました。

祝年のご入居者の表彰とプレゼントをお渡ししてお祝いをさせていただきました後、司会の古川様に乾杯の音頭をしていただきました。「乾杯！」と



素敵な声が会場に響きました。

今回、司会をしてくださった、古川様、昔、川崎球場のウグイス嬢をされていた経歴があり、グループホームでは素敵な歌声を披露されておりました。今回も是非、皆様の前で素敵な声を披露していただきたいと思い、司会をお願いいたしました。

敬老会の司会をされていくなかでウグイス嬢をされていた頃を思い出され、当時、川崎球場で行っていたアナウンスマで披露していただきました。

会場では「おおー！」と歓声があがりました。

敬老会の最後はグループホームのご入居者が各自好きな歌を唄ってお開きになりました。

今年度の敬老会は、ご家族に参加していただきましたので、ご入居者が笑顔で喜ばれている姿がとても印象的で、笑顔があふれる素敵な1日を過ごさせていただきました。



古川様 司会の大役ありがとうございました



百寿、おめでとうございます

世代を越えた、 秋のイベント

アフタースクール

アフタースクールは、高齢者と小学生との世代を越えた繋がりを大切に行っているのが特徴です。特に秋は、敬老会にハロウィーンと賑やかなイベントが続きます。さらに、今年は、森の子ナーサリーの未就学児童たちとも交流。思いの仮装を準備し、歌や踊りを披露します。入居者の笑顔が一層輝くひと時です。



今年もバザー 開催しました

羽衣相談センター

毎年十一月の第四土曜日には、羽衣地域福祉サービスセンター全体で「羽衣センター祭り」を開催しています。センター内の三部署が様々な工夫を凝らし企画したものを催します。



羽衣相談センターでは毎年、地域の方々から提供された品物を中心に活用させて頂きバザーを開催しています。様々な提供品を頂く事で、地域とのつながりを深く感じることが出来ます。

また、毎年バザーに来所される方々のお顔を拝見するたびに、バザーの浸透ぶりगतても深いものだと感じるとともに、その場で交わす言葉も「待っていたよ」「楽しみにしていたよ」と心温まる言葉が聞かれ、職員として胸に熱くなるものを感じています。

今年は他部署の催し物との兼ね合いもあり、バザーの開始時刻を十一時からさせて頂きました。毎年ご来場下さる馴染みの方々がお見えになり、盛況でした。バザーに關しては、毎年好評で、開始一、二時間で良い商品は売れてしまいます。

別の企画としてフードドライブをセンター前でを行い、ご家庭で余っている食品などをご提供頂きました。恵比寿会



として地域に貢献できることは大変嬉しいことです。

今年も無事にバザーを開催できましたことに感謝し、来年も職員一同笑顔で皆様をお迎えさせて頂きます。



特定技能4期スタッフが インドネシアから、 入職いたしました



リスタさん

マンタさん

ヌルルさん

ヘダさん



9月1日に入社式を行いました

23年目の2回目の 大規模修繕報告

フェローホームズ 仲間の家



私は2002年10月にフェローホームズへ入職した、赤松鈴二と申します。この10月で23年もの月日をフェローホームズ仲間の家で過ごしてきましたわけですが、本年、大規模修繕を経験することになりました。

入職当時は正に老人ホームといった姿をしていた建物でしたが、現在ご利用者の居室・トイレ・お風呂と言った設備が新しい姿に変化しています。居室の扉は重い鉄の扉から木製の扉になりました。私は落ち着いて気に入っています。

浴室は3か所から2か所に

なり最新の浴槽・機械浴層が導入されます。

私が入職した当時は1階に大浴場と機械浴曹があり2階3階合同で数人のご利用者と共にエレベーターで降りて来るため、今思えば大変だった思い出です。でも今は各フロアーで1人1人お風呂に入られるため以前よりは気持ち楽になった気がします。

居室は従来型の老人ホームならではの1部屋4台のベッドを並べてカーテンで区切った形から、居室内を壁で区切りそれぞれの個人スペースを確保しました。スペースは今までの居室を区切ったため正直狭いのですが、コロナウイルスやインフルエンザウイルスによる感染も以前より蔓延しづらくなったと思われます。

トイレは初期の形が共同便所と言った様相で、タイルに囲まれた正にトイレといったものでしたが、1回目、2回目を経てトイレも個人スペー

ス并确保できたと思われます。ただ少し狭いため気を付けなさいといけません。

そして今回一番変化した所は床の色の变化ではないでしょうか。従来の床の上に木目調の床を貼り付けており、見た目の高級感が感じられます。

10年ひと昔、と言いますが、正に私が在籍した20数年は仲間の家の変化を目の当たりにした数少ない職員です。この先の10年も楽しみにしつつ頑張っていきたいと思っています。



2024年度（令和6年度）決算報告

2024年度（令和6年度）の法人決算について、ご報告いたします。皆様には日頃よりご支援・ご協力を賜り、深く感謝しております。より一層堅実な運営に努めてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 恵比寿会

貸借対照表

2025年（令和7年）3月31日現在

（単位：千円）

財産目録

2025年（令和7年）3月31日現在

（単位：千円）

資産の部	
I. 流動資産 （現預金・事業未収金ほか）	2,760,109
II. 固定資産	5,125,439
基本財産	3,418,907
土地 立川市富士見町2丁目ほか	1,919,018
建物 鉄筋コンクリート造陸屋根3階建ほか	1,499,890
その他の固定資産 （器具、備品ほか）	1,706,532
資産合計	7,885,548
負債の部	
I. 流動負債 （未払金・預り金ほか）	357,479
II. 固定負債 （設備資金借入金ほか）	212,747
負債合計	570,226
差引純資産	7,315,322

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	2,760,109	流動負債	357,479
		固定負債	212,747
		負債合計	570,226
固定資産	5,125,439	基本金	749,048
基本財産	3,418,908	積立金	1,369,099
土地	1,919,018	次期繰越活動増減差額	5,197,175
建物	1,499,890	（うち当期活動増減差額）	158,195
その他の固定資産	1,706,532		
		純資産合計	7,315,322
資産合計	7,885,548	負債及び純資産合計	7,885,548

事業活動計算書

（自）2024年（令和6年）4月1日 （至）2025年（令和7年）3月31日

（単位：千円）

費用の部		収益の部	
サービス活動費用	1,707,717	サービス活動収益	1,842,549
サービス活動外費用	7,120	サービス活動外収益	26,223
特別費用	60,441	特別収益	65,106
法人税、住民税及び事業税	405		
当期活動増減差額	158,195		
合計	1,933,878	合計	1,933,878

学生の介護体験



清掃ボランティアさん



傾聴ボランティアさん



歌扇会の皆さん



第4中学校の生徒達



◇夏から秋にかけて多くの皆様
がボランティアや体験学習で
フェローホームズに来て下さい
ました。中学生の職場体験、教
員免許取得希望大学生の介護体験、
車椅子の清掃、歌と踊りの宅配便、
傾聴クラブの皆様など猛暑が続
く中でもお元気に活動してい
ただきました。利用者の皆様も大
変喜んで下さり、感謝の気持ち
で一杯です。

今後とも皆様のご健勝を
心から祈っております。
ありがとうございました。

森の子ナーサリー MORINOKO NURSERY

森の子ナーサリーは、0歳から2歳のお子さん達をお預かりしている保育施設です。

天気の良い日には、散歩に出かけ身体を動かし楽しんでいきます。

近隣の公園では、自然

体験などでもできるよう保育者が、お子さん達に働きかけています。虫を探し追いかけたり季節の花を観たり、どんぐり等の実を手に取り観察をしています。目で見るだけでなく、触ったり、匂いを嗅いだりなどの感触も感じられるようにしています。

散歩後は、ランチの時間です。毎日の食事は国産素材を基本とし、和食中心の一汁三菜をいただいています。食育活動として、お子さん達が育てた野菜や旬の食材、地方メニユーも取り入れています。どのお子さんも、好き嫌いなく「おかわり！」と食欲旺盛です。



これから、お子さん達の健やかな心と身体の発達を願い、たくさん体験ができる保育を行ってまいります。

三好紀子

しばさきのいえ

子育てひろば

しばさきのいえ子育てひろばは、プレママから未就学児の親子が気軽に利用できる居場所です。爽やかな季節となり、砂遊びを楽しむ姿が見られるようになりました。

今年度より2か月に1回、手作りおもちゃの製作イベントを行っています。身近なラップの芯やペットボトルの廃材を利用して、ひと手間かけて完成できるように準備します。

わずかな時間ですが製作するお母さんは真剣です。おもちゃの完成を目標に初めての方同士でもお喋りしながら、リラックスした交流が生まれます。作業中は指導員がお子さんを見守ります。目を丸くしておもちゃで遊ぶお子さんと、見守るお母さんの優しい笑顔に出会うことができます。



これから、ひろばが親子で息抜きできる誰かとお話ししたい時に立ち寄っていただける場所となるように、職員一同アイデアを出しながら、お子さんの成長の手助けができたと思います。

森の子ども園 MORINOKO KODOMOEN

「視点を変える」

リンゴの美味しい季節になりました。リンゴはフォルムもかわいらしく、かおりもよく、美味しい果物ですね。こども園のランチでも最近よくいただいています。

1991年の秋に巨大な台風が青森県を襲い、甚大な被害を出しました。リンゴの被害は大きく、9割のリンゴが出荷できなくなっただけでなく、この危機的な状況を切りぬける打開策を、若いリンゴ農園の経営者たちは考えました。注目したのは、被害にあったリンゴの数ではなく、台風でも「落ちなかったリンゴ」でした。この「落ちない」というキーワードから「受験生の縁起物」として発信し、全国8か所の神社で1個1000円で販売したのです。「落ちないリンゴ」は瞬間に完売し、リンゴ農園の経営は何とか守られました。

2011年の3月11日に起きた東日本大震災は、東北地方に甚大な被害をもたらしました。三陸にあった「石巻水産」の工場は跡形もなく流され、本社も含め瓦礫の山となりました。ところが瓦礫の撤去作業をしていると、その下に大量の缶詰が埋まっていたのです。社員たちは、ボランティアの力も借りて缶詰を発掘し、一つ一つ丁寧に洗いました。包装は剥がれ、傷つき、へこんだこの缶詰に「希望の缶詰」と名付け、各地の道の駅等で3缶1000円で販売すると、完売し、この収益で2013年に新工場が完成したということです。

この2つに共通なのは「落ちたリンゴ」「流された缶詰」ではなく、「落ちなかったリンゴ」「流されなかった缶詰」へと視点を変えたこと。その価値を日本全国の多くの人が認めたということです。非常に困難な状況の中で「発想力」を発揮できる人間力をどう育ていく

のかと考えさせられます。

森の子ども園はモンテッソーリ教育を軸とした

教育・保育活動を実施するこども園であり、「子どもが自由に自分でやりたいことを環境の中から選ぶ時間」を大切にしています。その中で、自分で選んだものに対して、「最終的には自己責任がある」ということを学び、真の意味での自己規律を習得しています。

「AIによって仕事が奪われる時代が来る」といった話もありますが、AIは決して万能ではありません。AIは過去のパターン分析が得意な一方で、「発想の転換」「ゼロからの創造的な発想」はできません。これらの時代を生きていく子どもたちは、こうして「視点を変え、見方、考え方を見



直す」という能力が必要不可欠であり、自分で見たり聞いたりして得た情報を生かしながら、工夫し、模索し、突き進んでいく力を子ども時代から育む必要があると考えています。

森の子ども園の園庭もやっとな秋めいてまいりました。パターン化された遊びや大人主導の体験だけでなく、主体的に様々な「本物」に触れ、「五感」を刺激しながら、「想像力のある子ども」から少し欲張って、「発想力

のある子ども」を育てていきたいと考えています。



森の子ども園

園長 森山貴子